

消防からのお知らせ

問い合わせ
0222415211050

秋から冬にかけて、空気が乾燥し火災が発生しやすい時期になります。

この時期は、室内を暖かくするため、ストーブやファンヒーターを使用しますが、使用方法を間違えると火災の原因となります。今回は、暖房器具から火災を防ぐポイントをお知らせします。

衣類など燃えやすい物の近くで使用しない

- 洗濯物をストーブの上で乾かすと、落下した時、火災となる恐れがあるのでやめましょう。
- カーテンや衣類・布団・ふすまなど燃えやすい物のそばでは使用しないようにしましょう。



エアゾール缶などを暖房器具の上やそばに置かない

- エアゾール缶などをストーブやファンヒーターなどの暖房器具の上や近くに放置していると、放射熱で過熱され、缶の内圧が上昇して破裂し、漏れたガスに引火するおそれがあるので絶対にやめましょう。

寝る時や外出する時には必ず火を消す

- 布団などが接触して火災となるおそれがあるので、寝るときや外出するときは暖房器具のスイッチを切る習慣を身につけましょう。
- 電気ストーブやファンヒーターを長期間使用しないときには、誤ってスイッチが入ることを防ぐためにコンセントを抜きましょう。

石油ストーブ等のカートリッジタンクの口金は確実に締まったことを確認してからセットする

- 給油時は必ず消火し、火が消えたことを確かめてから給油しましょう。
- カートリッジタンクへの給油は、石油ストーブ等とは別の場所・火気のない場所で行いましょう。

- 給油後は、火気のないところで一度カートリッジタンクをひっくり返し、カートリッジタンクから灯油が漏れないことを確認してからセットしましょう。また、漏れてしまった油は、よく拭き取りましょう。

消火栓の除雪にご協力ください

積雪時は、消火栓や地下式消火栓の蓋が雪の下に隠れ、見つけることが困難になり、消火活動に支障をきたすことがあります。

消防職員や地元の消防団員が除雪をしていますが、管内の消火栓を二斉に除雪することは困難です。お近くに消火栓がある場合には、家の周りの除雪と併せて、消火栓の除雪にご協力をお願いします。



消火栓(上写真)
地下式消火栓
(左写真)



広告

広告